

学習指導案（国語科）

指導教員

実習者

- 1、対象 第3学年
- 2、日時 令和元年6月18日（火）第6校時
- 3、場所
- 4、単元名（教材名） ことばを磨く（三省堂 現代の国語3「俳句の世界」「俳句十句」）
- 5、単元について

（1）教材観

本教材は、日本の伝統的な短詩型の文学である、俳句について学ぶことのできる教材である。「俳句の世界」では俳句のきまりを理解し、内容を考えることのできる教材となっている。そして「俳句十句」を通して、季語や切れ字などのきまりに注意して読むことを狙う。グループ活動と創作を通じて、想像力を働かせながら俳句の世界を知ることのできる教材である。これらの教材を通じ、日本語の持つ表現の豊かさを学ばせたい。

（2）生徒観

昨年度に俳句を詠む活動を行っているので、俳句に対する興味・関心はある。そのため、本教材を通して、現代まで残る俳句作品にふれることで、生徒にさらなる表現力を身に付けさせたい。

（3）指導観

本教材を通して、俳句における表現上の工夫に注意して読みとく力を身に付けさせたい。また、ワークにある歳時記や俳句の作り方を見ながら、自分自身の俳句を詠み、クラスで読み合う活動で、表現の多様性を認め合うことをねらう。

6、単元の目標

俳句の表現技法を知り、俳句の世界を読み味わう

7、単元の評価基準

国語への関心・意欲・態度	読むこと	言語についての知識・理解・技能
・俳句のきまりや特徴を理解して内容を捉えようとしたり、俳句の世界を読み味わおうとしたりしている。	・俳句のきまりや特徴を理解して、作品の内容を捉えている。 ・語句の意味や表現の効果を考えながら、俳句の世界を読み味わっている。	・ことばの選択や使い分け、表現の効果を考えながら読み、語感を磨き語彙を豊かにしている。

8、単元の指導計画

時	学習活動	指導上の留意点	評価基準（評価の観点）
1	<p>「俳句のきまりを知り、情景を想像して読もう」</p> <p>・「俳句の世界」を読み、俳句のきまりや特徴を捉える。 ・それぞれの情景を想像しながら、読み味わう。</p>	<p>・俳句のきまりなどの説明に終始せず、想像を膨らませるような説明を行う。</p> <p>・言葉からイメージしたものを、俳句の内容について教科書の本文から説明する。</p>	<p>・俳句のきまりや特徴を理解している。（読むこと）</p> <p>・想像を膨らませ、内容をとらえようとしている。（国語への関心・意欲・態度）</p>

時	学習活動	指導上の留意点	評価基準(評価の観点)
2	<p>「知識を生かして俳句を読もう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の「俳句の世界」の続き(自由律俳句)</li> <li>・「俳句十句」を、ワークシートを使い、きまりや特徴を考えながら読み味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作者や季語についての発問を行い、前回の知識が定着しているかを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の内容をふまえて、句を理解しようとしている。(読むこと)</li> <li>・季語の判断など、季節を表す語句について、考えることができる。(言語についての知識・理解・技能)</li> </ul>
3	<p>「作った俳句を鑑賞し合おう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークを参考にしながら、自分で俳句を作る。</li> <li>・ミニ句会を開く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークの歳時記を活用</li> <li>・プリントには名前を書かせるが、短冊には名前を書かずに提出させる。</li> <li>・最終にはホームの句集を作成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・句の表現の効果に着目し、それを考えながら自分の作品を書くことができる。(言語についての知識・理解・技能)</li> <li>・表現の効果を考えながら俳句の世界を読み味わう。(読むこと)</li> </ul>

9、細案(1時間目)50分

目標 「俳句のきまりを知り、情景を想像して読もう」

時	学習活動	指導上の留意点	評価基準(評価の観点)
導入 5分		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「令和」、万葉のゼミから俳句へ</li> </ul>	

時	学習活動	指導上の留意点	評価基準(評価の観点)
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標と教材名を書く</li> <li>・教科書を音読(1段落)</li> <li>・発問に答える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の目標と教材名を板書</li> <li>・音読は教室の端からS字に読んでいく</li> <li>・発問「さっき読んでもらった所に、俳句のきまりが3つありました。わかりますか？」→続きで当てていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文から重要な語句を読み取り、発表できている(言語についての知識・理解・技能)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートを取る</li> <li>・俳句を音読(全員)</li> <li>・音読する</li> <li>・教科書をみながら板書をノートに写す</li> </ul> <p>「まさなる」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・俳句を音読(全員)</li> <li>・音読する</li> <li>・教科書をみながら板書をノートに写す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①俳句のきまりをそのつど板書</li> <li>・「では、実際の俳句を詳しく見ていくことにしましょう」</li> <li>・音読させる</li> <li>・板書を書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・俳句のきまりや特徴を理解しようとしている。(読むこと)</li> <li>・想像を膨らませ、内容をとらえようとしている。(国語への関心・意欲・態度)</li> </ul>

時	学習活動	指導上の留意点	評価基準(評価の観点)
展開 40分	「菫ほどな」 ・俳句を音読(全員) ・音読する ・板書をノートに写す	・音読させる ・板書を書く	
まとめ 5分	・プリントに名前をか	・次回使うプリント配布	

10、板書計画(1時間目)別紙

11、細案(2時間目)(40分)

「知識を生かして俳句を読もう」

時	学習活動	指導上の留意点	評価基準(評価の観点)
導入 5分	・宿題の確認 ・前回の復習	・宿題の確認	
展開 25分	・今日の目標と教材名を書く ・発問に答える	・今日の目標と教材名を板書 ・範読する ・「俳句の世界」自由律俳句について説明	・俳句のきまりや特徴を理解し俳句を味わおうとしている。(読むこと)

時	学習活動	指導上の留意点	評価基準(評価の観点)
展開 25分	・中間切れ・体言止め・作者の背景など確認 ・俳句を音読(全員) ・板書をノートに写す	・宿題の解答を答え合わせする  ・各俳句について説明 ・大意まで書いたプリント追加で配る	・想像を膨らませ、内容をとらえようとしている。(国語への関心・意欲・態度)
まとめ 5分	・俳句の作り方など確認(ワーク) ・プリント、短冊	・次回使うプリントと短冊配布 ・俳句の作り方など説明	

12、板書案(2時間目)別紙

13、本時案(3時間目)

目標 「作った俳句を鑑賞しよう」

時	学習活動	指導上の留意点	評価基準(評価の観点)
導入 5分	・句会の内容を確認	・句会の確認	
展開 40分	・グループになる  ・班ごとに短冊をもちらう	・グループに分かれさせる  ・事前に回収していた短冊配布	

時	学習活動	指導上の留意点	評価基準(評価の観点)
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班ごとに1番優れていると思う句を選ぶ</li> <li>・班ごとに選んだ句を、黒板に書く</li> <li>・選んだ句の良さを発表する</li> <li>・一番優れている句を決める(一人2回挙手する)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節感が表現されているものや、気持ちが表現されているものを選ばせる</li> <li>・選んだ句の良さを発表させる</li> <li>・選ばれた句の作者に手を挙げてもらい、自分の込めた思いを発表してもらう</li> <li>・それぞれの句に対してコメントを言う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・俳句のきまりや特徴を理解し俳句を味わおうとしている。(読むこと)</li> <li>・想像を膨らませ、内容をとらえようとしている。(国語への関心・意欲・態度)</li> </ul>
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・俳句の良さを確認する</li> <li>・授業の感想を書く</li> <li>・プリント提出する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一つの表現方法として俳句の優れている点を確認する</li> <li>・プリント回収</li> <li>・後日句集にすることを知らせる。</li> <li>・授業の感想はチェックののち返却する。</li> </ul>	

14、板書計画(3時間目)別紙

p54 「俳句の世界」

目標

俳句のきまりを知り、情景を想像して読もう

① 俳句のきまり

その一、五・七・五の三句十七音

その二、季語(季節)を用いる

その三、切れ字(や、かな、けり)

② 俳句を読もう

季語(秋)

切れ字

桐一葉日消りながら落ちにけり

優しい印象

↑  
ゆっくりとした時間の流れ

「一枚の桐の葉が、日の光を受けながらゆっくりと落ちていく様子」

季語(春)

切れ字

まどをなる空よりしだれさくらかな

真つ蒼→桜色(ピンク色)

「真つ蒼な空と降り注ぐように咲く色の対比から、春を感じている様子」

季語(春) 字余り(一字足らず)

蕨ほどな小さき人に生まれたし

「蕨のような小さい人に生まれたり」

「俳句十句」ワークシート

( ) 番 名 前 ( )

俳句	季語 (季節)	切れ字
A 菜の花がしあはせさうに黄色して		
B 万緑の中や吾子の歯生え初むる		
C 芋の露連山影を正しうす		
D いくたびも雪の深さを尋ねけり		
E 分け入っても分け入っても青い山		
F 入れものが無い両手で受ける		

「俳句十句」プリント

( ) ホーム ( ) 番 名 前 ( )

バスを待ち大路の春をうたがはず 石田波郷

季語(季節)・・・春(春)  
大意・・・大きな道でバスを待っていると、春がやってきたことを確信している様子

何もかも散らかして発つ夏の旅 大高翔

季語(季節)・・・夏(夏)  
大意・・・ある夏の日、旅の準備で様々なものを散らかしたまま、旅に出発していく様子

星空へ店より林檎あふれをり 橋本多佳子

季語(季節)・・・林檎(秋)  
大意・・・星空に向かって、店先に並んだ林檎があふれ出ているようだ

咳の子のなぞなぞあそびきりもなや 中村汀女

季語(季節)・・・咳(冬)  
切れ字・・・や  
大意・・・咳をしていて外に遊びに行けない子とのなぞなぞあそびがいつまでも続いているなあ

「俳句の世界」

目標

知識を生かして俳句を読もう

自由律俳句  
無季俳句

- A 菜の花 (春) ×
- B 万緑 (夏) や  
中間切れ
- C 芋の露 (秋) ×  
影 || 姿  
擬人法
- D 雪 (冬) けり  
体言止め
- E ×
- F ×

\*鑑賞のポイント

- ・ 風景は？
- ・ 作者の気持ちは？
- ・ 季語や切れ字はどんな効果？
- ・ どんなイメージ？

目標

作った俳句を鑑賞しよう

- 1 班
- 2 班
- 3 班
- 4 班
- 5 班
- 6 班

(生徒に書きに来てもらう)

\*鑑賞のポイント

- ・ 風景は？
- ・ 作者の気持ちは？
- ・ 季語や切れ字はどんな効果？
- ・ どんなイメージ？

俳句を選んだ理由 (班で発表)

- ・ この句を読むと「                   」情景が浮かびます。
- ・ この句からは「                   」という作者の心情が伝わってきます。
- ・ 「                   」が使われていて、効果的です。  
(季語、切れ字、へつとさせられる言葉)
- ・ この句の優れているところは「                   」。

↓  
だからこの句を選びました。

俳句を詠んでみよう！

① 自分で詠んだ俳句

自分の俳号 ( )

② 俳句に込めた自分の気持ち・こだわり

### チェック！

\* 季語は正確に使えている？ (季語が二つあったり、季語がなかったりしないか)

\* 五・七・五の形式になっている？ (今回、自由律俳句は作りません！ 字余り、字足らずは基本的にどうしても時だけ！)

\* 切れ字は使っても使わなくてもいい。

\* 自分の名前は書かないで！ 自分の俳号 (ペンネーム)、または詠み人知らずと書こう。

※ここからは返却します。名前を忘れずに！

③ 授業の感想

( ) ホーム ( ) 番 名前 ( )